



日本学校カウンセリング学会

Japanese School Counseling Association

学会・研修会（第28回大会）プログラム （共催 財団法人 生徒指導士認定協会）

学校現場で具体的に確実に使えるカウンセリング、生徒指導を提案している学会です。
児童生徒を効果的に指導したい、さらに高度の指導力を身につけたい、具体的な指導が知りたい、また自信のある指導をしたいとお考えの方に最適です。

期 日 平成25年1月12日（土）・13日（日）

場 所 名古屋市中小企業振興会館吹上ホール 会議室
（〒464-0856 名古屋市中千種区吹上二丁目6番3号
名古屋市中小企業振興会館1階 TEL: (052)735-2111）

参加対象 幼・小・中・高・大の教員、教委・研究所・センターの先生、学校心理士
・生徒指導士・臨床心理士・スクールカウンセラー、その他

参加費 会員5,000円・学生院生4,000円（非会員8,000円・学生7,000円）
※「会員」とは、日本学校カウンセリング学会・生徒指導士会（受講中を含む）
に所属の方です。

講演会のための参加は4000円です。

生徒指導士及び学会認定ポイントは1pとなります。

学校心理士—表A—学校心理士は講演のみの認定となります。

1月12日（土）

講演会

午前 10:00-10:30 受付

午前 10:30-12:00 セミナー

セミナー 生徒指導部会企画

アメリカの学校におけるいじめ対策

講師 福井龍太先生

茨城県立医療大学

公立学校の23区で少なくとも1週間に1回以上いじめが発生し、深刻な問題となっているアメリカでは、いじめを減少させるために様々な方策を充実させている。なかでも反いじめ法の制定、生徒行動要綱の策定、規律指導の徹底、いじめ報告制度の充実、生徒指導士の配置、報奨制度の充実は注目すべきものである。また、望ましい行動への介入と支援（Positive Behavioral Interventions and Supports; PBIS）によって、生徒の行動が懲戒を受ける状況とならないよう、段階的な指導を行っている。本論では以上のことについて実際の風景を交えて説明する。

午後 13:00-15:00 講演

講演 非行にどう対応するか (学校心理士A表)

講師 堀英太郎先生

愛知県臨床心理士会スクールカウンセラーコーディネーター
愛知県教育委員会スクールカウンセラースーパーバイザー

講演者の堀氏は、臨床心理士として、これまで学校および病院などさまざまなフィールドで、きわめてさまざまな問題への対応に向けて活躍をされてきました。今回の御講演では、スクールカウンセラーとして各種の学校に関わり、非行問題へ積極的に介入されてきたご経験をもとに、当該の問題に対して、どのような対応をするとよいかについて、実践的な示唆を提供いただきます。

1月13日(日)

午前 9:30-10:00 受付

午前 10:00-12:00 口頭発表

口頭発表 10:00-12:00

「児童の問題行動とワーキングメモリとの関係」 15分

水谷 孝佑 (武庫川女子大学大学院 認定生徒指導士)

問題を起こす児童の認知的側面はどのようなものであろうか。最近めざましい発展を遂げている領域にワーキングメモリというのがある。このワーキングメモリと問題行動との関連を小学校児童を対象に調査し、その関連性を見いだした結果を紹介する。

「スクールカウンセリングの治療構造に関する一考察」 15分

水野 康樹 (名古屋市立有松中学校 臨床心理士)

学校でのカウンセリングは、医療機関や相談機関、開業でのカウンセリングとは、治療構造がかなりゆるやかである。その前提で学校でカウンセリングを行っていく必要がある。そこで学校でのカウンセリングを治療構造の視点で、カウンセラーとして心得ておきたいことやクライアントへの配慮点について考察してみたい。

「特別支援教育における目標 (Goals) の考え方」 10分

～米国のIEPから学ぶ目標の考え方～

石川 真史 (三重県立特別支援学校 西日野にし学園 専門生徒指導士)

昨年、本学会にて「測定可能な目標について」を発表させて頂いた。今回は、さらに深め、IEP (個別の教育支援計画) と目標の考え方や目標設定における重点について考えたい。

「信仰心の有無が与える心理的影響について」 10分

野呂 茜 (皇學館大学)

日本には古来より神道という信仰のあり方がある。しかし日本において、神道について心理実証的に研究した例は見当たらない。神道の信仰心を中心に、宗教心が与える心理的影響について考察する。

「アメリカの道徳教育の実際」 15分
渡邊 毅 (皇學館大学)

アメリカ合衆国オレゴン州コーバリス市における教育現場での道徳教育の実際を紹介する。

「教師のトラブルの調停の仕方による子どもの反応」 10分
有門 秀記 (皇學館大学 専門生徒指導士)

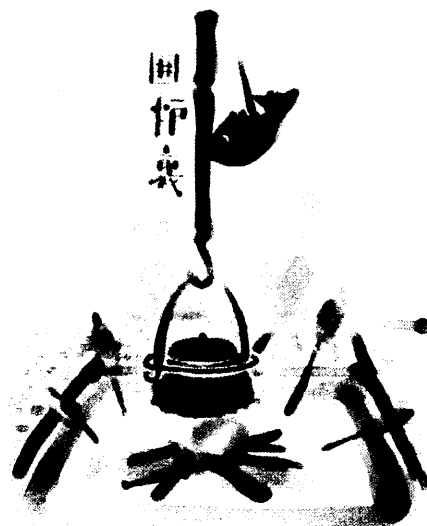
「トラブルの調停を教師が行うことは多い。そのとき納得のいく調停ができるかどうかは生徒指導上重要なことである。もちろん嚴重注意や叱責をおこなうこともある。このような調停を行うと児童によっては教師の意図と異なった反応を示す。このことを、教育学部の学生の回想的調査の結果から示す。」

「現代懐疑主義と心理学(3) --「心理学の足下」を固める」 15分
宇田 光 (南山大学総合政策学部 専門生徒指導士)

振り込め詐欺に破壊的カルト、怪しげな健康食品・・・。心理学の目からすると懐疑の対象は多い。一方、心理学自体が「怪しげな学問」と見られないように、その足下もよく固めておく必要がある。そうでないと、何かを訴えたところで説得力に欠ける。例えばロールシャッハテストで、性格はわかるのか。またアメリカでは近年「科学的心理学会」が誕生している。学会内部で、「科学的でない心理学」への批判がある証拠である。

「学校におけるいじめ対応～アメリカの中学校の実践から～」 15分
市川 千秋 (専門生徒指導士)

アメリカの中学校でのいじめ対応について、いじめに対する掲示、配付資料などから具体的に紹介する。

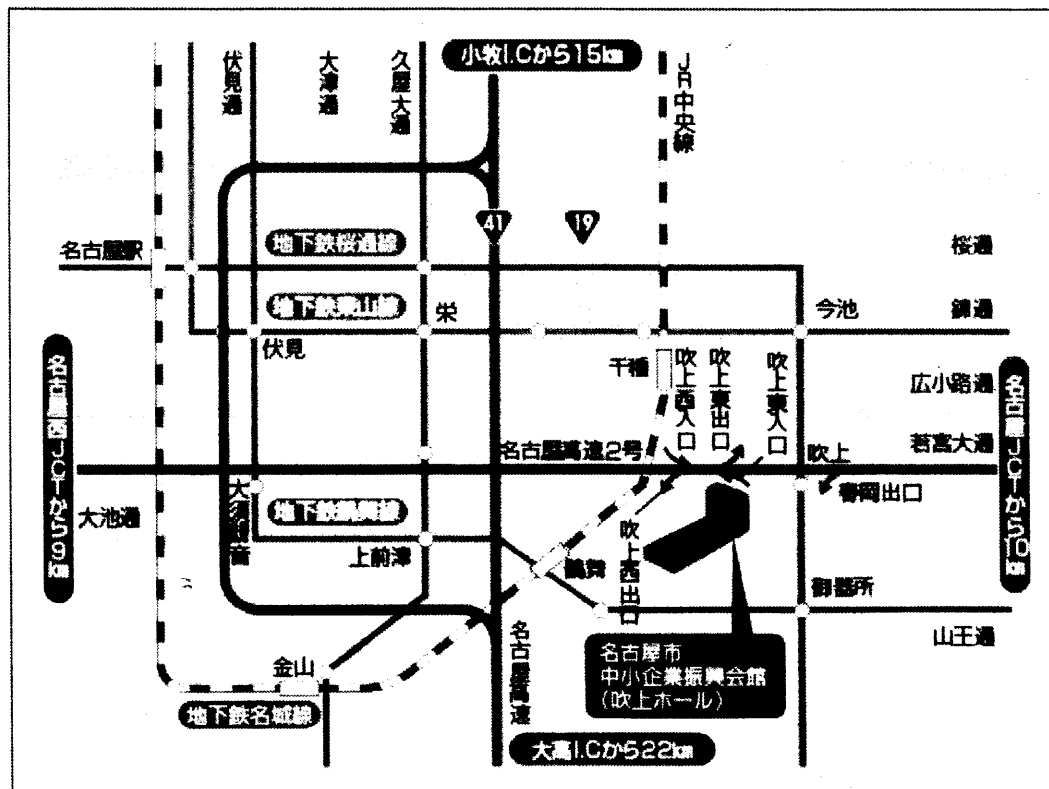


JSCA 第28回大会 (2013年1月、名古屋市中小企業振興会館吹上ホール) 参加申込書

ふりがな	
氏名	
自宅住所	
電話番号	
FAX	
E-mail	
会員種別	JSCA会員・生徒指導士(受講中含む) ・ 非会員
会員種別	(あてはまる方に○)
所属・勤務先	
職種	
住所	
電話番号	
郵送・連絡先	(自宅 ・ 所属勤務先) (希望する郵送先を○)
12日参加希望	参加 不参加
13日参加希望	参加 不参加
学校心理士の方で 講演会のための参加 希望	参加

当日一日参加も可です。

※大会または発表に関するお問い合わせは、日本学校カウンセリング学会事務局のメールにてお願いいたします (office.jsca@gmail.com [西口 利文])。



名古屋駅から地下鉄東横線、徳重行きで「吹上駅」下車、5番出口から徒歩5分